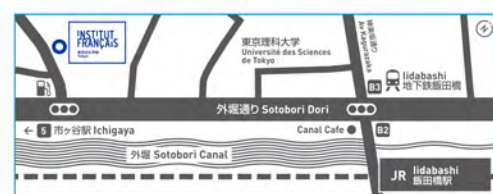


Calendrier 上映スケジュール

1.25(木)	16:00	アヴァ Ava (105分)
	18:30	緑色の香水 <i>Le Parfum vert</i> (101分) *上映後にニコラ・パリゼールとのオンライントークあり <i>suivi d'une discussion en ligne avec Nicolas PARISER</i>
1.26(金)	14:00	女と犬 <i>Des filles et des chiens</i> (6分) 20年後の私も美しい <i>La Belle et la belle</i> (95分)
	16:30	スペアキー <i>Fifi</i> (108分)
	19:00	のら犬 <i>Chien de la casse</i> (93分)
1.27(土)	11:30	アヴァ Ava (105分)
	14:15	スペアキー <i>Fifi</i> (108分)
	17:00	私たち <i>Nous</i> (115分) *アフタートークあり(ゲスト:月永理絵) <i>Suivi d'une discussion avec Rie TSUKINAGA</i>
1.28(日)	13:00	女と犬 <i>Des filles et des chiens</i> (6分) 20年後の私も美しい <i>La Belle et la belle</i> (95分)
	15:30	のら犬 <i>Chien de la casse</i> (93分)
	18:00	ジャングルのけもの <i>La Bête dans la jungle</i> (103分)

- プログラムはやむを得ない事情により変更されることがありますが予めご了承ください。
- 開場：各回15分前。上映開始10分後以降の入場は他のお客様へのご迷惑となりますので、お断りします。
- 入場料金：一律1,100円
- チケットは1/17(水)12:00よりPeatixにて発売予定です。窓口販売はございませんのでご注意ください。
問い合わせ先:東京日仏学院(03-5206-2500)



会場:東京日仏学院 エスペース・イマージュ

〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15

tel:03-5206-2500 fax:03-5206-2501

www.institutfrancais.jp/tokyo

IFJTokyo | [institut_tokyo](https://twitter.com/institut_tokyo) | [institut_tokyo](https://www.instagram.com/institut_tokyo)

第14回マイ・フレンチ・フィルム・フェスティバル 開催概要

期間 2024年1月19日(金)~2月19日(月)

配信作品(国内) 長編8作、短編15作(うち子供向けアニメーション4作)

料金 長編映画…有料(料金は各配信サイトの規定による)/短編映画(60分以下)…無料

公式サイト www.myfrenchfilmfestival.com

配信サイト 公式サイト、U-NEXT、Amazon Prime Video、MBS動画イズムほか
(視聴する地域、配信サイトにより、配信作品、作品数、配信期間が変わることがあります)

主催 ユニフランス



My French Film Festival

sur grand écran!

スクリーンで見よう!

マイ・フレンチ・フィルム・フェスティバル

2024.

1/25(木) ➔ 28(日)

Du 25 au 28 janvier 2024

@東京日仏学院 エスペース・イマージュ

à l'Institut français de Tokyo

特別ゲスト:ニコラ・パリゼール(映画監督)、月永理絵(ライター、編集者)

Invités : Nicolas PARISER, Rie TSUKINAGA



Liberté
Créativité
Diversité

UNIFRANCE

All the accents of creativity



世界中から旬のフランス映画にアクセスできるマイ・フレンチ・フィルム・フェスティバル (MyFFF) が今年も1/19 (金) から2/19 (月) まで開催。ジャンル多様な秀作が集まっている今年のセレクションの中から4本の長編映画を特別上映します。くわえて過去の同映画祭で好評を博した2本をアンコール上映するほか、2023年に惜しくもこの世を去ったソフィー・フィリエールの作品も追悼上映します。ヒッチコックと「タンタンの冒険」の世界を想起させるサスペンスコメディ『緑色の香水』の監督、ニコラ・パリゼールとのオンライントーク、映画ライターの月永理絵さんとのトークショーも予定しています。

My French Film Festival

Programme 上映作品 *すべて日本語字幕付き

MyFFF2024 セレクション Sélection MyFFF2024



© Bizibi

緑の香水 Le Parfum vert

[フランス、ベルギー/2021年/101分/カラー/デジタル]

監督：ニコラ・パリゼール 出演：ヴァンサン・ラコスト、サンドリーヌ・キベルラン

コメディ・フランセーズの俳優が公演の真最中に毒殺される。現場を直接目撃した劇団員のマルタンは、警察にマークされるだけでなく、殺人を指示したであろう謎の組織「緑の香水」から命を狙われてしまう。マルタンはバンドデシネのイラストレーター、クレールの助けを借りて、「緑の香水」の計画を阻止しようとヨーロッパ中を駆け回り、謎の解明に乗り出す。スパイ映画に演劇と漫画の要素を織り交ぜた多面的な作品で、ヨーロッパにおけるファンズムの台頭をも示唆している。



© DR

スペアキー Fifi

[フランス/2021年/108分/カラー/デジタル]

監督：ジャンヌ・アスラン&ポール・サンティラン 出演：セレスト・ブリュンケル、カンタン・ドルメル

フランス東部の町、ナンシー。低家賃住宅で暮らす15歳のフィフィことソフィーは、カオスな家庭環境に嫌気がさしている。夏のある日、ヴァカンスへと旅立つ旧友のジャドの大きな家の鍵を手にして……。人生と自由に目覚めていく少女を瑞々しく演じるセレスト・ブリュンケル、そしてアルノー・デブレシヤンの『あの頃エッフェル塔の下で』で発見された期待の若手俳優カンタン・ドルメルを迎えた、詩情とユーモア溢れる男女二人の監督による長編デビュー作。



© CamilleSONALLY

のら犬 Chien de la casse

[フランス/2022年/93分/カラー/デジタル]

監督：ジャン＝パティスト・デュラ 出演：アントニー・バジョン、ラファエル・ケナール

南フランスの小さな村。幼なじみのドッグとミラレスは、一日の大半を路上でぶらつきながら過ごしている。ミラレスはドッグを見下してからかう癖があるが、エルザという少女が村にやってきたことで二人の歪んだ関係のバランスが崩れていく。アントニー・バジョンとラファエル・ケナールの卓越した演技に心を奪われる。「この作品は、パニョル、ジオノ、さらにはルノワールの『トニ』まで遡る系譜に位置づけられるだろう。」(カイエ・デュ・シネマ)



© 2022-AURORA FILMS-FRAKAS PRODUCTIONS-WILDART FILM-RTBF

ジャングルのけもの La Bête dans la jungle

[フランス、ベルギー、オーストリア/2022年/103分/カラー/デジタル]

監督：パトリック・シハ 出演：アナイス・ドゥムースティエ、トム・メルシエール、ベアトリス・ダル

25年間、謎の“出来事”を待ち受けて巨大なナイトクラブに出入りする一組の男女。1979年から2004年にかけて、ディスコがテクノクラブへと変遷する中で変化する愛と執着のストーリー。ヘンリー・ジェームズの同名小説を自由な解釈で映画化した、クラブカルチャーへのオマージュ的作品。現代フランス映画にかかせないアナイス・ドゥムースティエと80年代にカルトの人気を博した『ベティ・ブルー』のベアトリス・ダルの共演も見どころ。「この催眠術のような、コンセプチュアルで官能的な体験は大スクリーンで体験しなければならない。」(ル・モンド)

過去の人気作品 Les favoris de MyFFF



© Bac Films

アヴァ Ava

[フランス/2017年/105分/カラー/デジタル]

監督：レア・ミシウス 出演：ノエ・アヴィタ、ロール・カラミー、ジュアン・カノ

海辺でヴァカンスを過ごす13歳の少女アヴァ。視力の低下が急激に進行し、完全に視力を失う日が近いことを宣告されていた。母はヴァカンスを謳歌しようと、何事もないかのように振る舞うが、アヴァは自分なりのやり方で運命に向き合おうとしていた。「ファイブ・デビルズ」が日本公開され注目されている新鋭レア・ミシウスの美しい長編デビュー作。「性の目覚めを確かな感覚で描き出す。肉体と官能の美がときに弾けるようにこぼれる瞬間が眩しい。」(レ・ザンロキュブティール)



© Sarah Blum

私たち Nous

[フランス、カナダ/2021年/115分/カラー/デジタル]

監督：アリス・ディオップ

パリを南北に走る急行鉄道B線沿いの、「郊外」と呼ばれる地域。移民の整備士、サン＝ドニ大聖堂でレイ16世の死を悼む信心深い人々、患者宅を訪ねて回る看護師、かつてドランシー収容所に収監された人々の記憶、夏の静けさを楽しむ若者たち、作家、狩猟愛好家、監督自身の幼少期の思い出の場所……。数々の断片から「私たち」の全貌が見えてくる。『サントメール ある被告』が昨年公開され人気を博したアリス・ディオップの代表的ドキュメンタリー。

ソフィー・フィリエール追悼 Hommage à Sophie Fillières

現代を生きる女性たちが風変わりなシチュエーションに巻き込まれるラブ・コメディをコンスタントに発表し、愛されてきたソフィー・フィリエール。2023年7月31日、58歳の若さで惜しくも他界したこの才能あふれる監督、脚本家を追悼し、初期短編作品と長編8作品をお届けします。



© DR

女と犬 Des filles et des chiens *MyFFF2024配信作品

[フランス/1991年/6分/カラー/デジタル]

出演：サンドリーヌ・キベルラン、エレヌ・フィリエール

路上でお気に入りのゲームに興じる2人の少女。「どっちがいい？ こっちは、それとも…？」ユーモラスで独創性に溢れ、ソフィー・フィリエール監督のその後のスタイルを予感させる。コメディエンヌとして本国で絶大な人気を誇り、『緑色の香水』にも主演しているサンドリーヌ・キベルランの初期出演作のひとつ。



© Claire Nicol / Christmas In July

20年後の私も美しい la Belle et la belle

[フランス/2018年/95分/カラー/デジタル]

出演：サンドリーヌ・キベルラン、アガット・ボニゼール、メルヴィル・ブポー

大学生のマルゴーは、恋愛についても、将来についても進むべき道が見えず、日々を過ごしている。そんなとき、40代半ばの女性マルゴーと知り合う。全ての偶然が彼女たちを結び付け、自分たちが一つの人生の異なる年齢を生きる同じ人間である事を知ること……。監督の実娘で、透明感のある美しさが魅力のアガット・ボニゼールとサンドリーヌ・キベルランがひとりの女性の20代と40代をそれぞれ軽やかに繊細に演じている。